

テイクオフ ボードの向けかた、キック、レールワーク



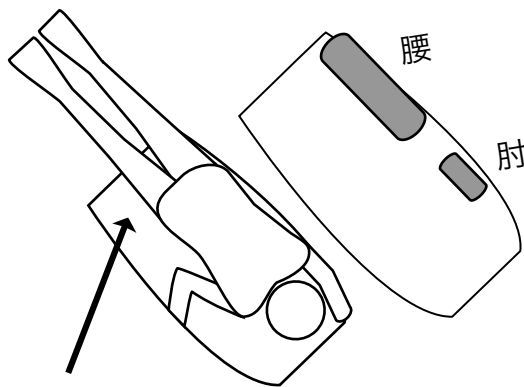
テイクオフの時はボードの真ん中体が乗ってる
目線は近くのリップを見る、この波のサイズで
1m 先、これでブレイクの早さが分かり、
ボードを横に向ける角度が理解出来る。近い
ほどリアルに波の状態が分かる。
ボードが走り始めた瞬間、キックは水中から出
してフィンの甲で水面を叩き付けるように、
叩いた時ひざがピント延びてると効果的。
水面たたきをするとノーズがしっかり押さえら
れる。



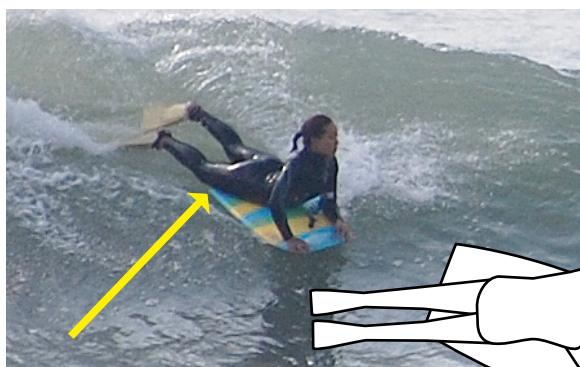
ボードは走り始めてるが水面たたきキックは続
ける。 目線は同じ1m先リップ。 ここからレー
ルを入れるので水面たたきがが必要。 レールを
入れる前に右肩を首に付けるように、右肘を
10cmデッキから浮かせて左肘に軽く加重する。
胸の向きは変えずに肩と腕でボードのノーズを
左に向ける。テールは右に向け腰が左レールに
乗るようにする。コツは矢印の左ノーズだけ引き
込みボードを横に向ける。



肘はターン角度やスピードで加重を調節する。



デッキが広く見えると腰が波側レールに
乗っている証拠。



レールの反対側に腰が乗ってしまって左レールにまったく
乗れてないからレールが入らない。これではスピードが
失速、ターンは思うように曲がらない。 松原プロの画像と
比べると一目瞭然。 こうなる原因はボードをコントロール
する事を忘れて、自分自信が横に走れば良いと思ってしまう。